

総合的な学習の時間の実践

八雲町

総合的な学習
5～6年

おいしい水から不思議を探る

「こっちの水はあ～まいぞ！！

あっちの水はに～がいぞ！！」

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

4年生の社会科の学習で「水のゆくえ」という学習を行いました。八雲町は、湧き水がたくさん出る自然豊かな町です。そこで地域の湧き水と水道水の利き水から味の違いに気付かせ、当たり前にある水について考えながら環境問題に取り組むことにしました。水のでき方・性質・特徴・環境等、追究したくなるような体験活動を多く行い、解決のために繰り返しかわることで、水を通して、この地域のよさを知ってもらいたかったのです。

学習活動の流れ（32時間）

いろいろな水を飲み比べ、味の違いに全員驚きます。はてなが見えました。

どれも同じと思っていたのに、比べるとその違いに再度驚きました。課題がはっきりしました。

川探検や飲料会社見学で、水の流れや地域環境を意識させ、水の性質や味に目を向けさせます。自分の課題が決定しました。

納得するまで何度も現地や会社を訪れ、自分の目で確かめます。

湧き水と水道水の利き水をしよう。（2）

- ・ Aが美味しいな ・ 僕はBが美味しく感じた
- ・ 同じ水なのに味が違うね

他の市町村の水の味も違うのかな？（2）

- ・ きっと、同じだよ。だって水道水だもん
- ・ あれ？味が違うぞ

川探検へ行こう！！飲料会社を見学しよう！！（15）

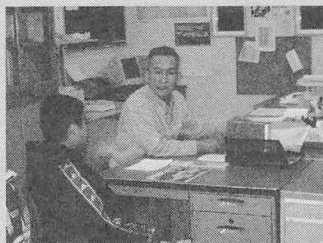
- ・ ○○川と△△川の幅が違うね
- ・ 周りの様子も違うぞ
- ・ □□飲料の水は、こうやって湧いてるんだ
- ・ 日本一のカルシウム量なんだって

水について調べよう（15）

- ・ どうして味が違うのかな？
- ・ 水はどこから来ているのかな？
- ・ 水のきれいさは？

北海道の南にある函館から少し行ったところにある八雲町。

水という素材から、自然いっぱいなのどかな地域のよさを感じ取り、学習を進めます。



飲料会社で

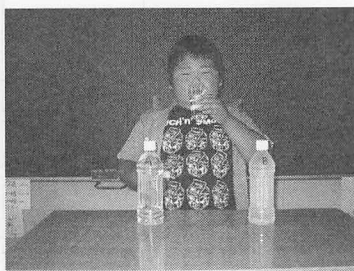
教材・活動の Point!

1. 水にも味のちがいがあるぞ！！

いろいろな種類の水が販売され、その水を飲む機会も増えていますが、利き水をしたり、飲み比べたりしている子どもはいません。飲み比べてみると、全く味が違うことに驚かされます。また、同じ水道水でも市町村によって違います。このような違いから水の発見・不思議を探る活動につなげます。

2. 行き詰まったら繰り返し体験

水への興味・関心をもたせたあと「もっと、〇〇したい。」という思いや願いにするために、更に飲料水の会社見学や川探検等の体験活動を取り入れます。課題解決に行き詰まったら、もう一度体験することが、自力解決の一つの手段となります。



3. 水から他教科への関連・きっかけづくり！！

他教科でも、水を題材・単元にしているものが多くあります。水についての知識だけではなく、体験を充実させておくことで、導入・きっかけづくりに役立てることが出来ます。また、他教科と関連させることで、横断的な学習もできます。